

# 清川歴史公園かわら版

## 3月1日(土) 清川関所オープン！！

### 『箏演奏と御抹茶の会』 やスタンプラリー等イベント多彩

昨年開催した際の館内



令和七年三月一日(土)より清川歴史公園 清川関所が営業再開するのに合わせて、四月六日(日)まで春の催し「清川関所のひなまつり」を開催します。【ひな人形の展示】  
地元・清川のお家に伝わるひな人形を展示します。

さらに町内施設から譲渡いただいたひな人形も展示します。



【箏演奏と御抹茶の会】  
四月三日(木)のお昼十二時より、清川関所で「箏演奏と御抹茶の会」を開催します。御食事処 御殿茶屋が提供する「お雛様御膳」を召し上が

りいただいた後、箏演奏と御抹茶をお楽しみください。(十四時終了予定)  
参加費はおひとり二千元。事前予約制で定員は二十名です。お申込・お問合せは清川関所(電話0234-2515885)まで。



#### ■発行所

○清川歴史公園  
管理運営委員会

□庄内町  
立川総合支所  
立川地域振興係  
TEL:0234-56-2217

○庄内町  
「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会

□庄内町教育委員会  
社会教育課  
TEL:0234-43-0183

#### 【庄内町の雛めぐり

#### スタンプラリー】

三月三日(月)から四月三日(木)まで「庄内町の雛めぐりスタンプラリー」を実施します。庄内町内四ヶ所(ハナブサ醤油・亀ノ尾の里資料館・KOJIYA・清川関所)のおひな様をめぐり、スタンプを集めて清川関所の受付へお越しください。粗品を贈呈します。

なおスタンプラリー用のチラシは、四ヶ所で配布しております。また各施設で見学可能な時間や定休日が異なります。詳しくはチラシにてご確認ください。

#### 清河八郎記念館 開館のお知らせ

三月一日(土)より、清河八郎記念館が開館しております。企画展「清河八郎の尊王攘夷―赤心報国回天倡始―」を開催中です。ぜひご来館ください。お問合せは清河八郎記念館(電話0234-572104)まで。

# 企画展示は「清川口の戦い」と「明治天皇東北巡幸」



令和七年度の清川歴史公園清川関所における企画展示は、「激動の幕末維新く庄内が見た戊辰戦争と明治天皇東北巡幸」に決定しました。

戊辰戦争絵巻 (致道博物館蔵)

今回の展示では、「戊辰戦争絵巻(致道博物館蔵)」の中から、薩長を中心とする新政府軍と庄内藩との間で戊辰戦争の戦端が開かれた「清川口の戦い」の部分をパネルで紹介します。本絵巻は、戊辰戦争における庄内藩の戦いの様子を描いたものであり、作者や作成年代は不詳です。清川口の戦いをはじめ、山形県内各地での戦闘や秋田藩との戦いの場面が描かれています。戦局の推移や当時の戦闘の様子を伝える貴重な資料です。

一方、「稲刈天覧図(余目八幡神社)」は、戊辰戦争終結から十数年後の明治十四年、明治天皇が北海道からの帰路に山形を巡幸され、余目を通過された折に、村民の稲刈りを天覧するご様子が描かれています。当時の農村の暮らしや、明治天皇巡幸の一端を伝える貴重な資料です。

いずれの資料も幕末維新という激動の時代を経験した庄内を考える上で、大変貴重な資料です。ぜひこの機会にご覧になってみてはいかがでしょうか。

稲刈天覧図(余目八幡神社)



三月二十九日(土)開催  
**きよかわマルシェ**

三月二十九日(土) 昨年に引き続き「きよかわマルシェ」を開きます。会場は清川グランド及び清川体育館です。

当日はキッチンカーやテナント店舗が清川に集結します。食事やお買い物等お楽しみ下さい。時間は午前十時から午後三時まで。なお駐車場が限られる為、お近くの方はできるだけ歩いてお越しください。ご協力をお願いいたします。出店するお店の情報等につきましては、広報の折込チラシをご覧ください。(現在三十四店の出店を予定)

きよかわマルシェ with なんてん市

2025  
**3.29 SAT**  
 10:00-15:00

会場: 清川歴史公園

お申し込み: 0234-25-5865

# 地域おこし協力隊玉越隊員が3年間の活動を振り返ります



私が清川関所を中心に取り組んできたミッションは、「歴史・文化資源を活かした観光交流人口の拡大による地域活性化」です。その一環として、清川の歴史や文化を伝える講座やイベントの企画・運営に力を注いできました。

「歴史講座 清川」では、清川が歴史遺産の宝庫であることを知ってもらう機会を提供しました。庄内各地のみならず、最上地域などからも参加者を迎え、多くのリピーターにも恵まれました。

清川関所の空間を活かし、文化・芸能の魅力を発信するイベントも開催しました。「津軽三味線ライブ」や「清川関所寄席」を開催し、訪れた皆さんから大変喜んで頂けました。

地域のにぎわいを生み出すことを目的に、「きよかわマルシェ」を開催し、多くの方々にお越しいただきました。

地元の学校行事では、子供たちが清川のまち歩きを楽しめるようサポートし、地域の魅力を次世代へとつなぐお手伝いをしてきました。

三年間の活動を通じて、私は「地域に賑わいができることが活性化の一步」だと強く実感しました。歴史や文化を活かし、人が集まり、交流が生まれることで、地域の魅力はさらに深まり、広がっていくのだと思います。地域の皆さまの温かいご支援とご協力があつたからこそ、これらの取り組みを実現できました。心より感謝申し上げます。

これからも清川の魅力を発信し続けられるよう、新たな形で関わっていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 歴史の里のおもてなし ガイドの会より

「お客様の声」

昨年七月の大雨災害等が影響してか、夏のお客様は少なく、年間を通じたガイド利用者は二百七十三名でした。それでも事も故もなく皆様に楽しんで頂けたのは良かったと思います。

今回はガイド利用者の皆さんの感想をいくつか紹介します。

- 一 清河八郎の墓は綺麗に掃き清められ、苔も美しい。
- 二 清河神社は「文武両道の神」なので、扉を開けて頂き参拝したかった。
- 三 船玉神社の魚の彫刻が立派だった。
- 四 大堰や水神権現に関心を持つきっかけとなった。
- 五 清川は歴史がたくさん詰まっており、ストーリーがある。

このように素敵な感想を沢山頂戴しております。今後も折に触れ紹介したいと思います。

今年もまた清川のまち歩きを楽しんでいみせんか。



世界かんがい施設遺産・北楯大堰

**【会員募集】**  
きよかわ観光ガイドの会

私たちと一緒に清川を案内する仲間になりませんか。  
お客様と一緒にまち歩き(ウォーキング)は健康にも良いです。  
「お問合せ」清川関所(電話) 0234-25-5885



「清河八郎の『日記』」(三)

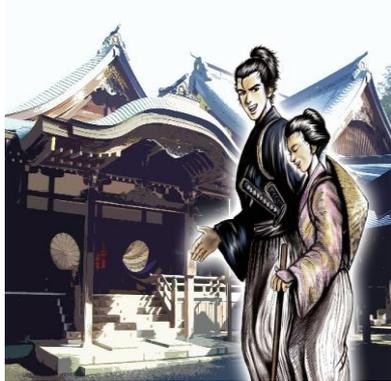
波乱の半生の  
克明な記録



1

(前号からの続き)  
【安政二年九月十日、  
旅最後の日】  
すでに霧が立ち上り山川ことごとく清らかで、木々が紅葉し、また滝が降りしきる景色、絶景と言わねば。最上川のうちはさうおき、全国で最も滝が多いのはこのあたりから清川までの間である。左右の山々から落ち来る流れが種々の奇形をなしおおよそ

2



3

四十あまりもあろう。なかでも結び滝、白糸の滝などはことさらにごときだ。  
間もなく抱石の瀬を過ぎ、久津波美(戸沢村沓喰)、戸川村などを右手に見て、仙人堂に至る頃、家郷の親しい人たちが一艘の船に乗って迎えに来た。お互いに無事を祝い、すぐに舟を仙人社の前に寄せる。仙人の由来は詳しくない。土俗に言うには、源義経の家臣

4



維新の魁  
清河八郎を大河ドラマに!

「清河八郎」を主人公とする大河ドラマの実現を目指し、平成三〇年五月に「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会を設立しました。現在、清河八郎を多くの人に知ってもらいたい!という願いのもと、周知活動を行っています。

それから白糸の滝に舟を寄せると命じたけれど、水勢が早くてこぎ着けられなかった。白糸の滝はこの川筋の第一というべき名滝である。春の頃は山々が緑に染まり、遊山船の絶える日がなく、このあたりは格別に景色のよいところである。  
柏谷沢(戸沢村柏沢)、はらまき岩のあたりを過ぎ、まさに家山

6

常陸坊海尊を祭っているそう。時に靈験あらたか、遠近から信仰しに集まり、とく人の知るところである。このへんの山も木々も朦朧としていてひじょうに古色な趣きがある。  
仙人堂で清水から乗った舟を返し、迎えの舟に移る。久しぶりの再会で、しかも伊勢参詣だから、迎えの者もいっそう酒を勧め、舟中は飲めや食えやの大騒ぎ。

5

に至ろうとする頃に、はるか川岸に迎え出てきた人々がなつかしく思われ、川岸番所の前に舟を寄せ、群集となった迎えの人々に無事を告げ安堵の辞を述べる。ともに家の中に入る。午後二時頃だった。  
祖父、父とともに祝辞を述べ、万里の旅ことなく終わり、万歳を三唱して宴を開き、村民を招いて酒宴大いに盛り上がり、大酩酊、

7

好評販売中!!  
庄内町史資料第七号  
清河八郎関係日記一



販売価格  
1,400円

お求めは、  
庄内町社会教育課  
(Tel.0234-43-0194)  
までご連絡ください。  
※清河八郎記念館、  
清川関所でも販売  
しています。(3~11月)

終わりに続いた。

(完)

：「清河八郎グラフィティ」より  
※今回号で、「清河八郎グラフィティ」からの掲載は終了になります。

9



8